

通級指導教室

久木小学校内：通級指導教室「ひさぎ」（しおさい教室）

沼間小学校内：通級指導教室「ぬまま」（やまびこ教室）

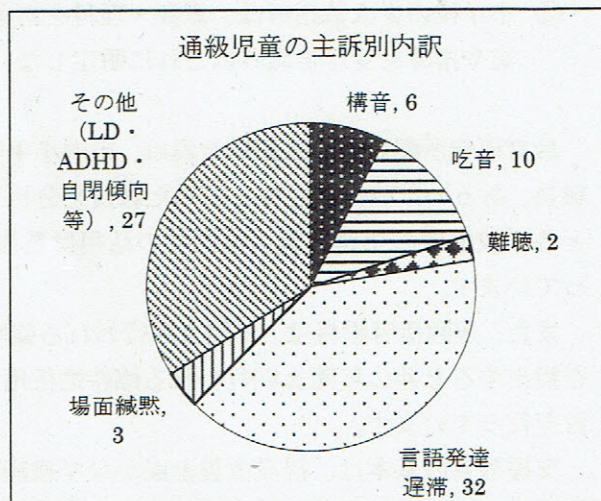
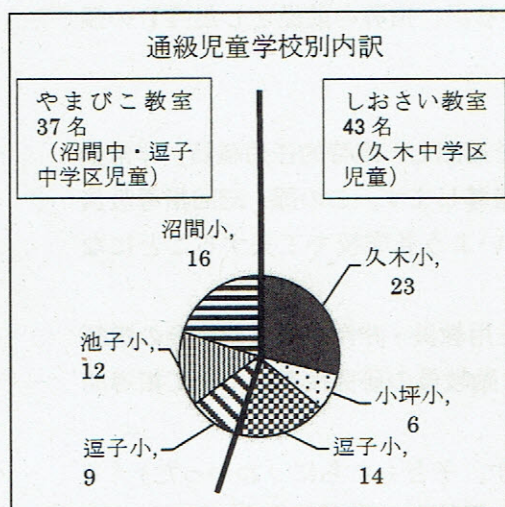
1. 通級指導教室とは

市内公立小学校の通常級に在籍する、ことばや聞こえ・コミュニケーションに課題を抱え、学習や社会生活に困り感のある児童が、個別のニーズに合わせて、個別の指導を受けるために通う通級制の教室。

2016年度より沼間小学校にも開設され、名称も「しおさい教室」「やまびこ教室」となった。

2. どのような子どもたちが通級？

- ◆発音が不明瞭な子
- ◆話がスムーズにできない子
- ◆人の話が聞き取りにくい子
- ◆自分の思いをうまく言葉で伝えられない子
- ◆言葉の意味がわかりにくい子
- ◆場面により緊張して話ができなくなる子
- ◆読み書き算数など普通の教え方だと習得しにくい子
- ◆落ち着きがなく学習面や友達関係でうまくいかない子
- ◆人の気持ちや場面の状況が読み取りにくい子 等



(いずれも 2016 年 5 月現在 80 人)

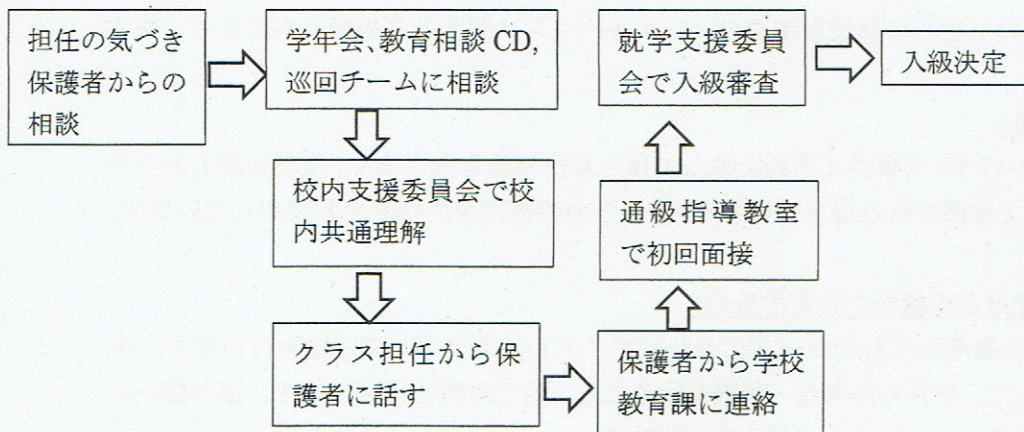
3. 通級指導教室ではどのような指導をする？

○一人一人の課題を把握し、その児童に合った個別の指導カリキュラム（その児童の興味・関心・能力・学級での活動等を考慮した教材、スモールステップ）を立て、個別（又は少人数）の指導を行う。子どもの思いを読み取り、返したり（モデルを示したり）、こまめなフィードバックをしたりすることで、できることを増やす。

- ・発音が不明瞭な児童には舌や口の体操・聞き分け練習・構音指導等を行う。
- ・聞く・話す・読む・書く等、言語的な課題がある児童には、課題に合わせた言語指導をするとともに、あらゆる活動の中に言語指導を盛り込み、言葉を通して相手と思いが伝わる喜びや安心感・必要性が感じられるようにする。
- ・感覚運動面の未熟さ等のために、落ち着きがなかったり、動きが不器用だったりする児童には、手指や身体を使った遊びを通して、集中力を高めたり、姿勢を整えたり、できる動きを増やしたりして自信を高める。

- ・友達とうまく関われない児童には、個別指導場面である程度、行動のコントロールができるようになったら、少人数グループ指導を行う。ゲーム等を通して、相手を意識した態度、自分の考えや気持ちを伝え合う力、ルールを守る、気持ちをコントロールする等のソーシャルスキルが身につくよう指導し、友達と一緒に活動すると楽しいという気持ちを育てる。
- ・週1～2回の指導を通して、学習面や行動面等の課題の背景にある言語・認知機能の底上げをしたり、その児童に合った学習方法や教材を探って提案したりしている。
- 保護者の悩みに寄り添いながら、その子の特性について共通理解を図ったり、子育てについて一緒に考え、家庭での環境調整を図ったりする。
- 担任・在籍校コーディネーター・研究所巡回チームと連携を取りながら、校内での支援を一緒に考える。必要に応じ、医療・福祉機関等とも連携を取り指導に当たる。

4. 入学後通級指導教室につなげるには？



※援助ニーズのある児童でも、学級集団での環境調整が進み、ニーズに合った配慮がなされ、学級内での人間関係が親和的で、安心して生活できる基盤が整うことで、学級適応ができる場合が多い。通級指導教室につなげる前に、まず学級・学年・学校の支援体制でその児童の課題が解決できるか検討をお願いしたい。

※その児童の課題が環境調整だけでは解決することができず、また、自信を取り戻すためにも個別の指導で力をつける必要があると判断される場合、低学年のできるだけ早い時期、二次障害が現れる前に、つなげていただくとありがたい。